

1. 議 事 日 程 (3日目)

(令和5年那智勝浦町議会第2回定例会)

令和5年6月1日
9時30分 開 議
於 議 場

日程第1 一般質問

11番 森本隆夫…………… 152

1. 議会制民主主義と議会事務局のあり方について
2. 以前に行った一般質問のその後について

2番 東 信 介…………… 160

1. 勝浦こども園について
2. 紀伊勝浦駅周辺の浸水について
3. 観光施策について

2. 出席議員は次のとおりである。(12名)

1番 城本和男	2番 東 信 介
3番 曾根和仁	4番 荒尾典男
5番 藤社和美	6番 金嶋弘幸
7番 引地稔治	8番 左近 誠
9番 加藤康高	10番 中岩和子
11番 森本隆夫	12番 亀井二三男

3. 地方自治法第121条第1項により説明のため出席した者の職氏名(17名)

町 長 堀 順一郎	副 町 長 瀧 本 雄 之
教 育 長 岡 田 秀 洋	参事(総務課長) 塩 崎 圭 祐
総務課防災対策室長 増 田 晋	税 務 課 長 中 村 崇
住 民 課 長 太 田 貴 郎	福 祉 課 長 仲 紀 彦
こども未来課長 竹 原 大 二	観 光 企 画 課 長 吉 中 秀 郎
農 林 水 産 課 長 村 井 弘 和	建 設 課 長 楠 本 定
会 計 管 理 者 榎 本 直 子	消 防 長 湯 川 辰 也
教 育 次 長 田 中 逸 雄	水 道 課 長 村 上 茂
病 院 事 務 長 寺 本 齊 弘	

4. 職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名(3名)

事 務 局 長 寺 本 尚 史
事 務 局 主 任 上 仲 映 豪
事 務 局 主 査 北 郡 克 至

~~~~~ ○ ~~~~~

〔4番荒尾典男議長席に着く〕

○議長（荒尾典男君） おはようございます。

報道各社から議場での撮影の許可の申出がありました。本件について、議長はこれを許可しましたので報告します。

なお、報道関係の皆様をお願いいたします。撮影は傍聴席から行い、議事の妨げにならないよう、傍聴の妨げにならないよう御配慮をお願いいたします。

また、傍聴者の皆様をお願いいたします。傍聴に際しては、お手元の傍聴券に記載しております傍聴人規則を遵守し、携帯電話の電源はお切りいただき、議事の円滑な進行に御協力いただきますようお願いいたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

9時30分 開議

○議長（荒尾典男君） ただいまから再開します。

本日の会議を開きます。

本日の日程は、お手元に配付のとおりです。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第1 一般質問

○議長（荒尾典男君） 日程第1、一般質問を行います。

昨日に引き続き、一般質問一覧表のとおり、通告順に従って11番森本議員の一般質問を許可します。

11番森本君。

○11番（森本隆夫君） 一般質問をさせていただきます。

私の件名は2件であります。

1つは、議会制民主主義と議会事務局の在り方についてが1点と、それと3番に以前行った一般質問のその後についての町の取組の経過を教えてくださいと、こういうふうに通告させておいております。

地方議会は、住民自治の必要性が期待される中で、多様な民意を吸収し、それぞれ集約し、地方公共団体の意思決定を行う地方議会の役割と責任は格段に重くなっております。我々一人一人が住民の代表としてその職責と重大さを強く自覚するとともに、議会の活性化に取り組み、住民の負託に応えていくことが強く求められております。

議会議員の使命として充実した発意が必要と考える。地方行政は、二院制議会としての役割からして、新職員改選、この春の人事異動がされたことについて議会事務局員の使命についてどう考えておるのかお答えいただきたいと思っております。

2点目として、私が以前一般質問で、勝浦の発祥地として大勝浦地域弁天島の整備について、旧町立温泉病院の跡地利用について、勝浦観光会館の跡地利用、グリーンピア南紀の跡地利用の誘致をどう考えているのか、それぞれの誘致についてどのように働きをかけているの

か、リノベーション等と答えられているが、その後どのような働きをしているのか詳しくお教えいただきたいと思います。

以前行った一般質問のその後についてを、勝浦の発祥地として大勝浦地区が弁天の整備についてでありますけれども、これは旧勝浦の発祥の地として弁天島大勝浦地方がですね、勝浦の発祥地であるということは私は認識しております。ですから、弁天島の整備について。

それと、町立温泉病院の跡地利用について。これはですね、私、町立温泉病院のほうへ1か月入院したことがあります。その窓からですね、この庁舎を、病院をのぞきますと、本当にこのまま放置していいのかというふうな、すごくもう弱ったような、汚くなっております。ウクライナの戦地の跡のような感じの建物であります。早急にですね、これを手がけていただきたいかように思います。

さらには、勝浦観光会館の跡地利用についてでございますけれども、新宮市の丹鶴演芸館がこのほどできておりますけれども、あの稼働率はすごく繁盛しておるように思います。うちはこんな文化的な催しをやるところがないんですね。それは体育文化会館っていう名称ありますけれども、本当に本来の文化の発表会としてですね、場所として本当に那智勝浦町はないわけですね。それをもう一つですね、整備をしていただきたいというふうに思います。ですから、勝浦観光会館もね、文化会館として、芸能会館として我々の町民の方々が気軽にそこで催しできるような何をしてほしいと思いますし、新宮の丹鶴ホールですね、あれの稼働もちよっと勉強していただいて、すばらしい活動をしておるとは思いますけれども、その点についても一回どういうふうなことを思っておるかお聞かせいただきたいと思います。

さらに、グリーンピア南紀の跡地についてでございますけれども、これは町長は前、災害におけるあそこを置いておいて、その災害の避難場所としていいんじゃないかという御返事は、答弁はいただいたことありますけれども、私はですね、那智勝浦町は高校教育がないんですね。新宮には2つありましたけれども、勝浦はないんです。古座、串本の間には2校県立高校がありますけれども、これはもう一つになってしまいましたけれども、うちは高校教育がまだまだ足らんように思いますし、本当にグリーンピア南紀をあるところに紹介して見てもらってはどうかとこういうふうに思います。私は太地の三軒町長に、あれを本当に一緒になって誘致しませんかとこういう話を冗談交じりにしたことありますけれども、そのときは、よし森本君、やろうやないかと、こういうような話も太地の三軒町長からも伺ったことがあります。それがですね、うちの町長は太地の町長とこのことについてどう話をされたことがあるんかね、グリーンピア南紀は両方の持ち物なんですよ。太地のほうが主体性が大きいかも分かりませんが、太地の町長もね、よしというふうな話を聞かされたので、一度どういうふうなことで誘致する話を相談されたか、一回お聞かせいただきたいと思います。

それと、観光会館の跡地利用についてですけども、これはですね、先ほども申し上げましたように、新宮の丹鶴ホールというふうな芸能会館が立派なものができておりますけれども、うちはあのような大規模な設備じゃなしにね、うちに似合ったような会館を整備してあげてほしいと。そして、我々町民が気軽にそこで発表会をできるような施設を造り上げてほしいと思いま

すし、文化的な活動会館がうちないわけですね。そこをもう一つ町長としてね、早急に取り組んでいただきたいと思います。あの観光会館も当時町長は、北浜区があそこを下を利用をしてるところというふうなお答えもありましたけども、それは僕は、どこの会館にしても地元が出資してさらに国の支援も受けますけども、そういうものと併せて地元の区民の方々と一回協議してね、もう一つしてほしいと思います。北浜会館については北浜区という大きな区民の方々が大勢おります。ですから、そういう方々の支援も協賛も受けてね、再度建て替えをしてほしいところというふうに思います。資金がないからようやらのやということはよく分かりますよ。しかしね、本当に県、国にどのように働きかけをしておるのか、一回町長の要望をどう伝えておるのか一回お聞かせ願いたいと思います。

ですから僕は、町長をはじめ執行機関だけでなく、住民の代表として二元代表制の一翼を担う議会が議決、監視を通じて、その権限を最大限に活用することが求められておると思います。そのためには、議会の構成員である議員や、議員を補佐する議会事務局の職員が議員の身分、議員の行動、活動、議会の運営などについてですね、必要な知識を持って……

〔傍聴者より不規則発言あり〕

議員を補佐していただきたいと思いますし……

〔傍聴者より不規則発言あり〕

この人事についてですね……

〔傍聴者より不規則発言あり〕

ええんか。

○議長（荒尾典男君） 大丈夫です。続けてください。

○11番（森本隆夫君） ですから、我々としてはですね、この地方行政は二院制議会としての役割からして、新職員改選、このたびの人事異動がされたことについて、議会事務局職員の使命についてどう考えているのかお願いしたいと。今本当に、局長ともう一人職員で2人でやってるんですね、議会。我々がね、本当に事務局の職員を本当の議員の秘書的な役割をですね、いろんな仕事の要求に応じて解釈してもらって、調べてもらって、その議員の方々の勉強の手助けのなるような職員ということで、今の2人ではですね、難しいと思いますし、幾らうちの議員定数が少なくなったといえども、やはり議会事務局の職員の効率をですね、能力を議員にも本当に発揮できるような何を、体制づくり、人員を確保していただきたいと思います。

そのようなことで私の一般質問はこのような趣旨を持って発言させていただきました。どうもありがとうございました。

1回目を終わります。

○議長（荒尾典男君） 総務課長塩崎君。

○参事（総務課長）（塩崎圭祐君） 職員の人事異動についてお答え申し上げます。

職員の人事異動につきましては、多様化・高度化する住民ニーズを踏まえ、職員一人一人の適性や能力が生かされるよう適材適所に配置に努めているところでございます。また、限られた人員で業務に当たっておりますので、役場組織全体の業務遂行に当たり、それぞれの所属の

事務量等を踏まえ人員が増減するものであるというふうなことで認識しているところでございます。

以上でございます。

○議長（荒尾典男君） 町長堀君。

○町長（堀 順一郎君） 議員の御質問の2項目めの、以前に行った一般質問、公共施設の跡地利用等も含めての御質問でございました。

まず、弁天島の大勝浦の名前のお話っていうの、今回私、初めてだと思うんですけども、弁天島の前の栽培漁業センターの県の用地につきまして、以前からジオパークの用地でもございますし、いろんな県のトイレ整備であったり、あるいはベンチ、駐車場整備っていうようなことで、県にもいろいろ協議を行っているところでございます。

先ほどの大勝浦っていう名前、勝浦の地名の由来っていうのは、私知っている範囲内では鈴木家の大勝さんって、名前がちょっとよく分かんないんですけど、大勝さんっていうところの屋敷があって、その前の港が浦っていう名前をつけて大勝浦っていうのが発祥だっていうのはお聞きしたことございます。それはそれとして、ちょっとその、それで弁天島っていうこと、弁天島も吉野熊野国立公園の特別地域でございますし、それも保存をしていかななくてはならないと思っておりますので、そこも観光の一つのポテンシャルと、潜在能力として活用できたらなっていうふうに思っております。

あと、町立温泉病院につきましては、これは新病院を造るときに様々検討されたんではないかなと思っております。いろいろ調べるんですが、あまり検討されてはならないようございまして、様々な角度から利活用について検討しているところです。ただ単に、施設を壊すとなっても町単独の費用ではなかなか数億円というお金を賄うことはできません。跡地利用が明確になれば県の補助金2分の1が出るっていうことで、そういったことの財政的なものもございまして、跡地利用のことを十分協議をしながら決めた上で解体なりというようなことが必要なのかなというふうに考えてございます。

それと、観光会館でございます。芸能施設っていうのは、今は体育文化会館とか公民館とかで御利用いただいているところでございますが、丹鶴ホールにつきましては新宮市民だけじゃなくて広域で利用できるよっていうことで、新宮市民と周辺の市町村の価格は全く一緒に設定してございます。以前から新宮市周辺市町村でいろんな公共施設は広域でやっていくのが今後人口減の中で必要ではないかというようなことで、こちらからも丹鶴ホールでイベント、シンポジウムをしているようなことも見受けられますので、そういったことではそういうところで講演もするし、体育文化会館でもするし、小さければ公民館というようなことで、それぞれ役割分担をした上でやっていくべきではないかなっていうふうに考えてございます。

観光会館、国、県への要望っていうのは特に文化ホールとしては今のところ考えてございませんで要望はしてございません。

あと、グリーンピア南紀の跡地の関係でございます。以前、私が避難場所と申し上げましたけれども、巨大トラフ地震とか起こりましたら42号線が寸断されます。そんなことで、高速道

路を使って物流がどんどん運ばれてきますが、そこで物流をさばくところがありません。そういった意味でグリーンピアのところの裏から高速道路から入れますので、そこで物流の物資の仕分なんかをする場所にいいのではないかというようなことで、そういった意味で申し上げたところでございます。

以前、高等学校の誘致とかどうなんっていうお話もありました。実際に高校の誘致っていうのございまして、私、県庁の企業立地課とはもともとそこ出身なものですからいろんな情報交換をしている中で、グリーンピア南紀どうですかっていうようなことで県内探し回る中でグリーンピアも提案したところでございまして、これは学校ではないんですけど、ホテル用地とかで先般もこのグリーンピアを見に来ていただいた、今後どうするかっていうようなことを検討しているようなところもございまして、グリーンピア南紀の活用につきましては、太地町さんとはいつもですね、一緒になってやろう、もし一括で売るっていうことになれば一緒になってやりましょうっていうお話を事あるごとにさせていただいております、ただ単に那智勝浦町だけだとホテル棟と山ばかりですのでなかなか進入路もままならないっていうふうなことで、太地町さんと一緒になってやっていくべきではないかなというふうに考えているところです。

そんなことで、旧の施設につきましてもできる限り費用負担のないような形で、しかも新たな利活用について十分検討した上で県なりの補助を受けながら整理をしていく必要があるんじゃないかなというふうに思っております。

以上でございます。

○議長（荒尾典男君） 11番森本君。

○11番（森本隆夫君） 今の答弁はね、前回よりか前へ進んでないんですよ。どこでどうやって県と国とこういうような働きかけをしてきたかというのを的確に教えてもらわんと、県へ2回行ってきた、国へ3回行ってきたと、こういうふうな話もね、ほいで国というたら誰を窓口にして対応してきたんか、県の場合はどこか、こういうふうなことも教えていただかんと駄目じゃないかと思えます。

そして私、今町長ね、グリーンピア南紀の跡地利用について私ね、災害時にあの高速を使ってあそこから避難できるようなことを考えておるような話も以前もしたと思えますよ。けれども、けれどもね、僕はあそこをどういうふうな利用をしたらいいかというのは、僕としては、私立の高等学校を誘致したらどうかと、こういうふうに思います。

それで、うちの町民の方が、両親に相談せんとあのラ・サール高校ありますね、あそこを受験したらいいんですよ。ほいでそれを本人が両親に相談もせんと受験したものですから、合格通知をもらうてからね、両親に打ち明けたわけです。お父さん、これ僕受かったんやけども構いませんかと、ここ的高校へ行ってもよろしいですかという、ラ・サールへ承諾をもらうてから通学したらいいですけど。それでその子は、もちろんラ・サール高校を卒業して東北のほうの医科大学の附属へ行って勉強して、そしてお医者さんになったらいいねん。そういうラ・サール高校というのはね、本当に有名大学へ行って、そして後々フォローしてくれるのがこの高校やないかと思うんですけども。それとうちの、あそこを教育施設、グリーンピアを教育施設

として本当にそういうようなところへ貸してあげるといふうなこともね、僕は考えてはどうかと思います。ほいで、ラ・サール高校は静岡に事務局というものがあるんですよ。そこへ一回行ってね、こうこうであるんやけど、こんな教育施設がやる場所として全く格好のええ場所がうちにあるんですよと、一回見てくれないかと、こういうふうな申出も僕はしてやらなアカンと思います。そうしたら、その担当が一回見てもらって、何とここはもう災害にも関係ないし、風光明媚やし、温暖やしということだね、そしてその高校生がね、全寮制ですから、来たら、春夏になったら親御さん、兄弟、そういう方々がね、訪ねてくるように思います。ほいでその、そこを、ラ・サールを卒業した子に聞きますと、そうやよ、よそからね、たくさん来てるよというふうな話もしましたので、そやからうちもね、あそこを本当に、ラ・サールはするかせんかは別として、ああいう本当のいい高校を、私立校、私立高校を誘致して、話しがけて、グリーンピアを一回見てもらうことも必要やないかというふうに思いますけど、町長一回ね、あれをね、誰でもいいですから静岡のほうへね、ラ・サールの何を窓口がありますんでそこへ行って、うちはこういう施設があるんやと、教育施設として格好の場所なんやというふうな話をしてね、一回見てもらうて、何か取り組んでもらえるような方法ないかね。あれ尋ねてみていただきたいとかように思います。

そして、職員の採用につきましてね、事務局員が2名しかない。局長ともう一人しか、2人しかないんですよ。それでこの議員の面倒、議員の調べ物、そういうものを議会事務局の職員が充実してあればね、僕らの調べ物をきちっとしてくれると思うねん。そやから今の2人ではなかなか僕らに手の届くような何はないと思いますので、そこらをもう少し、4名から2名になった職員をもう一遍職員の規模を考え直してもらえるようなことはないですか。町長は指名権者ですから、議会にこの人、議会の職員を町長はこうしてしたいんやよということを議長に尋ねて、議長も了解してくれてあると思うんですよ。それは当然ですよ。権限は議長ですからね、職員採用の指名は。議長ですから、議長がよっしゃあそれでええよとこういうことになったあると思いますけども、もう一つ、我々の能力をもう一度活性化する、活発化する、そういうものをスタッフをそろえていただきたいとこういうふうにするんで、今の2名で局長を除いたら、もう職員1人なんやで。ですからもう本当にね、もう1人増やすか、それとも何か充実したものを考えていただきたいとこういうふうに思いますけども、これは議長もよっしゃあ仕方ないのと言うてくれる、言うたんやと思いますけども、そやけどやっぱりね、2人でこの11人のメンバーの面倒を見るっていうのは大変なことやと思う。それをもう少し議会の充実して能力を上げようとするなら、議会の事務局の職員も2人から3名、4名にしてあげてほしいとこういうふうに思いますけども、これはね、議長の権限であろうかと思えますけども、そして3名から2名にするときも議長に承諾を得たと思えますけども、なかなかね、これはいカンですよ。議員の充実をしようと思えば、議会事務局の職員もせめて最低でも3人、あわよくば4人という従来の職員数に戻していただきたいとかように思いますけども、これはもう議長がね、よっしゃあというて言うたんやと思いますけども、そやけどそこはもう少し人事異動するときに、もう少し議長と相談してもらって議会事務局の職員を充実してもらって、それで議会

議員の活性化をしていただきたいとかように思いますけども、町長どうですか。

○議長（荒尾典男君） 総務課長塩崎君。

○参事（総務課長）（塩崎圭祐君） 職員の人事異動につきましてお答え申し上げます。

令和3年4月の定期異動で議会事務局職員が1名減員となっております。その現在の体制ですが、職員が2名、それと会計年度任用職員1名、あと兼務発令をしておりますがその職員が2名という体制でございます。人事異動につきましては、職員の勤務状況、それぞれの所属の事務量等を踏まえ配置したものでございます。

また、現在のこの体制でございますが、県下市町村、また類似団体等の職員の配置状況を見ましても決して少ないものではないところでございます。

以上でございます。

○議長（荒尾典男君） 町長堀君。

○町長（堀 順一郎君） グリーンピア南紀跡地の私立高校の誘致につきまして、できればその優秀なラ・サール高校とかあれば大変ありがたいなと思います。そういう意味では出向くことはやぶさかではございません。ただ、今ですね、串本古座高校が全国募集をかけて学校運営をしておりますが、なかなか学校にも来ていただけない、新宮商業、新宮高校の統廃合というようなことがございます。今後ますます少子化が進む中でどんな形の高等教育が必要なんか、私立高校は近大新宮高校もございます。そんな中で割って入ってなかなかこう全国から呼べるものなのかというようなことは、ラ・サールの静岡のほうに行って十分その辺なんかもお聞きしたりというようなことも必要かと思えます。以前にも私立高校のお話がありまして、和歌山市とか、環境のいい勝浦のグリーンピアという話もございました。これ実際に具体的にございました。しかしながら最終的には別のところということになりましたので、そういったことでは企業立地課と十分話をしているところで、今までも専門学校の用地とかホテル用地とか、あるいは自動車の関係の事業をできないかというようなことで現地にも何回かお運びをいただいて、その辺は企業立地と十分連携をしながら誘致に、グリーンピア南紀の利活用について様々な角度から検討しているところで、今後も変わりもございませんし、できればラ・サールの、静岡ですかね、どなたか、誰か職員を行かせていろいろな話を聞かせていただくのも考えの一つではないかなと思います。

以上です。

○議長（荒尾典男君） 町長、ほかの事業進捗の状況は。どこへ何回、何回行ったいうて。

○町長（堀 順一郎君） いや、今言うた。グリーンピアのね、そのレース場とかね、こういうことは企業立地はやってる。

○議長（荒尾典男君） ほか、グリーンピアだけやなしに、ほかも。

○町長（堀 順一郎君） ほかはないですよ。

○議長（荒尾典男君） あの、県のほら話合いとか、その大勝浦のだけでなく全体に対する振興に行ったというの、こういう話してますということ。

町長堀君。



○町長（堀 順一郎君） どの部署で誰と交渉したかというようなことでございます。詳細今持ちませんが、一つは弁天島の栽培漁業センターの跡地につきましては、以前は水産局のほうで県のほうで所有してございまして、まずジオパークのほうの自然環境室のほうに移管ができないかっていうことで、うちの前の観光企画課長が出向いて、実際にもこちらへお越しいただいて、何時かちょっと忘れましたがも担当と話をしております。それ以降もですね、ジオパークの担当に会議あるごとに話をしているところでございます。

旧町立温泉病院につきましては、以前県立、県営の、県営住宅建て替えの避難場所を兼ねたところを県が建てるから、そこへ町の施設が入れば何らかの支援ができるっていうお話があったもんですから、そういったことで前の町長さんもそれがいいんじゃないかということで一度そこでも検討しましたが、あまりにも擁壁が5メートル、6メートルの擁壁がどうしても必要っていうことで、なかなか住宅地にそういう擁壁をするのは難しいんじゃないかっていうことで断念した経緯もございました。そんなことで何かそこは県の都市政策課かな、と担当とか、新宮の建設部、そういったところと協議をしているところでございます。具体的な交渉内容ということでしたので覚えている限りのことなんですけど、そういったことをしてまいりました。

以上です。

○議長（荒尾典男君） 11番森本君。

○11番（森本隆夫君） そうしたら、グリーンピアの跡地のことについて一回静岡のほうへですね、ラ・サールの一回何を、このこと、用地の、用地を見てもらって、あそこは教育施設に全くいいところやないかということを確認してもらおうことが大事なんです。それで、ラ・サール高校というのはね、鹿児島と北海道に2校あるわけですね。ですから、ちょうど真ん中のうちが真ん中の位置すると思うんです。そういうところで災害にもやすい、ほいでいろんな気候も考えたら、本当に教育の場所として全く適地じゃないかと僕は思うんです。ですから、そういうふうなラ・サールの静岡の事務職っていうんですか、偉いさんっていうんですか、その方に1回見てもらうてね、ああなんてこんなところ、ええところあるんということで、見聞してもらって、できるだけそういうふうな何をしてもらう。そして、ラ・サールっていうのは専門ですから、全寮制でそして皆さんがそこへ寝泊まりするわけですね。ですから、春、夏にかけてはね、両親、友達、そういう人がね、こうあそこへ施設ができればそういう方々が那智勝浦町へ赴いてくれると、こういうふうなことがありますんでね、ぜひ一回、本当に適地として考えていいのかということを確認してもらおう意味で静岡のほうへ行って見聞してもらおうようお願いしてはどうですか。それが一つ。

事務職員も、議会事務局職員も総務課長の話では考えてくれそうなこともあるだろうと思いますし、これはやはり事務職員と議員と一体となって活性化できる模索を探していったらなとこういうふうに思いますんで、もう一つ事務職員の充実を考えていただきたいとかように思います。

それと、町立温泉病院の跡地ですけどね、町長。本当に僕はうちの新しい病院へ1か月ほど入院しましたけども、あそこから町立病院のほうへ向かって、旧町立病院を見ますと、本当に

戦禍の跡を見るような汚い施設になっています。本当にこれでええのかなっていう、ほかの人に見られたら本当に恥ずかしい施設になっています。ですから、近隣の区民、町民は、何とこんなものほっといてええんかなというふうなことがあると思いますんでね、早速あれを、あの5メートル、6メートルの高さやなしに、例えば運動公園にするなりいろんなことあるだろうし、もっと考えてあそこをきれいな施設づくりをしていただきたいかように思いますんで、ぜひこのことを取り組んでいただきたいと思います。

これで僕の一般質問を終わります。

○議長（荒尾典男君） 11番森本議員の一般質問を終結します。

休憩します。再開10時30分。

~~~~~ ○ ~~~~~

10時12分 休憩

10時30分 再開

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長（荒尾典男君） 再開します。

次に、2番東議員の一般質問を許可します。

2番東君。

○2番（東 信介君） それでは、私の一般質問をさせていただきます。

一番最初に、勝浦こども園について。以前にもお聞きしたことあるんですけど、昨日も7番議員さんがお聞きしてまして、そのときに町長もちょっと気にされているような話もありました。昨今その大きな地震が頻繁に起こっている中、専門家も南海トラフ地震の関連があるかないかはっきりしない中、勝浦こども園、これからどうしていかれるおつもりか、どういうプランで計画が物事を動かしていくもんなんか、すいません、その辺お聞きします。

○議長（荒尾典男君） こども未来課長竹原君。

○こども未来課長（竹原大二君） 今後の勝浦こども園についてでございます。こども園につきましては、地震津波災害危険性関係、御家族の方、地域の住民の方、大変御心配されていることでございます。このことにつきまして、園児の安全面を第一に考えまして、今後も津波防災対策やこども園の在り方、そして再編等々の中で今後協議してまいりたいと考えております。

その期日等につきましては、現段階、協議検討している中でございますので、その辺は明確なお答えはできないというところでございます。

以上でございます。

○議長（荒尾典男君） 2番東君。

○2番（東 信介君） 結局、建て替えるか再編するかを検討するんやろ、一番最初に。先それを決めんかったらどうするんかって。そこを早くやって、ほんで3月に1回聞いたときは、そういうことをせなあかんというお話も聞きました。だから、それを早くせんかったらそっから先、進んでいかへんと思うんやで。それはそのときの中ではやっぱり園児の減少もあっていろいろ考えなあかんっていうんやけど、早く考えてほしいと思う。これ、本当にちょっと遅れ

て、もし子供に被害が出たら誰の責任になってくるなんということになるもん。だから町長、いかがですか。その辺、その大至急これ、事を進めていただくということ。その辺についてお聞きします。

○議長（荒尾典男君） 町長堀君。

○町長（堀 順一郎君） こども園の関係につきましては、3月の議会で早急に検討するというのを申しあげました。早急に決定するではございません、検討です。

議会前から当然浸水域にあるいろんな施設、あるいは避難困難地域についてそれぞれどういった形で解消していくかということでもいろんな形で検討してまいりました。その中で、今築地もそうなんです、避難困難地域が残っている、その方々を取り残してはいけない、園児ももちろんそうなんです、そういったことで土地もすぐに用意できましたので、そういったこと。あと、その前に私、消防署の高台移転をしました。これは全然検討すらしてなかったんですけれども、この防災・減災対策を考える上で、いざ事が起こったときに消防が救助に行けない、消火に行けないっていう状況が、建物の中では耐震構造がない、浸水域になる、まずそこが大切で一番の重要な課題であって、緊急防災事業債っていうのがその年度の終わりぐらい、3年後ぐらいで切れたんですかね、今は延長してますけど、そういったことで無理に、無理にっていうか早急にやろうということでも何とかそれは期限に間に合いました。そんなことで私どもは、もちろんこども園も子供さんの家も一緒です。避難困難地域の住民の皆さんも一緒です。その方々をいかに守るかっていうことで、それぞれ同時並行的にやっております。ただ、そこに財政面の課題、あるいは用地の課題、こども園につきましては今後子供さんがどんどん減っていく、本当に去年、おととしと50人、今年は三十何人というふうな状況でございまして、そこは増やしていく手だてをしますけれども、もしどんどん減っていくようではどうあるべきかっていうようなことは以前からも考えておりましたし、今後も検討してまいりたいと思います。

ただ、それはいろんなやってる中なので、いつどう決定するかっていうのはなかなか申しあげにくいところでございます。

以上です。

○議長（荒尾典男君） 2番東君。

○2番（東 信介君） 建て替えろって言っているわけじゃないですよ、僕。その子供さんが減っていく中、再編するか建て替えるかをどちらか先に決めるべき違うんかって、そっから先の計画って進まんやないですか。建て替えろっていうわけじゃないですよ。だけど、子供の安全を守るためにはどちらか選択して早く物事を進めなあかんの違うんかって言いやるだけで、それはね、予算ないって言ってますけど、うち財政的に実質公債費率はもう別に悪くないんやから、やろうと思ったらやれると思いますよ。そのために起債もしてあるんやし、今7%かそこからやと思うんですけど、それが例えば住民に説明してこれが8%になりますけど、またこれから先計画的に下がっていきますよっていうちゃんと説明したら、別にやろうと思ったらそれは、建て替えとは僕は言ってないですけど、やろうと思ったらやれると思いますよ。だからそ

の建て替えか再編かを早く決めて、早く計画を進めてほしいというんですよ。その辺どうやって思われてある、もう一度すいません。

○議長（荒尾典男君） 町長堀君。

○町長（堀 順一郎君） 以前から申し上げているように、早急に検討しているところでございます。

以上です。これ以上、もうございません。

○議長（荒尾典男君） 2番東君。

○2番（東 信介君） 至急よろしくお願いします。

紀伊勝浦駅周辺の浸水について。これまで何回も私、この問題について定義させていただきました。一番最初に定義して、県道をまたぐ横断桁ですか、それを施工していただいて、大分水の勢いも減ってきたという感じなんです。もともと駅周辺に浸水する水というのは、川関から流れてきて天満で分岐された一部と、駿田の谷の水と、それが熊野交通のところで国道を渡って高岸排水路へ流れて、それでこの庁舎の裏の側溝へ来るのと、紀伊勝浦駅の裏側、北側ですか、の地下道のところから駅へ向いての水路があって、その水が地下道のほうへ逆流して線路の敷石を渡って駅のほうへ流れていくというのがこの駅周辺の浸水の原因なんですけど、今回夏に朝日の高岸排水路から朝日区の公園を通して那智湾のほうへバイパスを造っていただけるといふ話でかなり安心してるんですけど、これでも僕は100%じゃないと思うんですけど、その辺の後というのはどういうふう考えられてあるんか、その辺よろしくお願いします。

○議長（荒尾典男君） 建設課長楠本君。

○建設課長（楠本 定君） まず、築地地区の浸水につきましては、和歌山県と町が整備しました駅前本通りから一番前の県道を横断し、勝浦港へ抜ける大型排水路の新設によりまして効果が出ています。そして、議員おっしゃいましたとおり今年度で朝日公園に大型の暗渠管を新設しまして、高岸排水路のバイパスを設けます。それによりまして地下道へ向かう高岸排水路の水量を分散緩和させることで駅周辺の朝日及び築地地区の浸水解消を図ってまいります。その効果を見まして、今後さらに浸水が度々起こるようであればさらなる検討はさせていただきたいと思っております。

以上でございます。

○議長（荒尾典男君） 2番東君。

○2番（東 信介君） よろしくお願いします。

次に、観光施策について。観光機構のことで少しお聞きしたいんで、これはあくまでも企画課がどう思ってるかということでお聞きさせていただきます。

私的には別に、機構への予算の割合からとか、自己財源の割合から考えたら議会で観光機構の質疑があっても別に構わないではないですか、内容のことを提案するとかじゃなしに、聞くことは別に問題がないんじゃないかと思うんですけど、一応今の体制ではあまり機構のことを聞くべきではないというようなことになってるんで、その辺はあくまでも観光企画課がどう思ってるんかということでお聞きします。

今回その宿泊のクーポンですか、していただいて、先日の議案の中でも質疑させていただいたんですけど、コロナ禍の中の宿泊クーポン、すごい効果があっていることやなと思って、別に今回出たクーポンの件に関して反対とかじゃない、という意見じゃないんですよ、一応賛成、私は賛成なんですけど、コロナ禍が終わりかけたときに、その執行する日にちをもう少し考えるべきではなかったんかという質問をさせていただいたんですけど、コロナ禍の状況と今の状況は違うんちゃうかな。もうちょっと例えば宿泊施設の対応のためにやるんやったら宿泊施設の予約状況とか、そういうデータを基にやるべき違うんかなと思うんですよ。3月の温泉何とかというのもありましたよね、やられたの。あれも2月が一番お客さんの少ない月やと思うんですよ。あの予算上、3月にしたということやと思うんです。繰越しして逆に少ない4月でもよかったのではないかなと思って思うんですけど、お客さんのデータはちゃんと集積して分析されるんですけど、自分がやられることに関して、じゃあ宿泊施設がどんな状況なんかって、宿泊施設のあれも部会もあるんでもう少しそのコロナ禍で終わった後やさか、もうちょっと考えてやられるべきではないかなと思うんですけど、その辺はどんなですかね。

○議長（荒尾典男君） 観光企画課長吉中君。

○観光企画課長（吉中秀郎君） クーポンの助成事業について、実施時期についてデータに基づく根拠があって実行されているのかどうかという御質問かなというふうに思います。

データに関して申しますと、観光機構におきましても旅館組合様のほうから、旅館組合加入されています事業者の平均の月間の稼働率、こうしたもののデータについては御提供いただいております、リアルタイムでその月のその日の稼働率っていうのはなかなか把握するところまでは現在のシステムでは至ってないんですけれども、歴年、傾向としまして繁忙期、閑散期のデータっていうのは経験則として把握してきてございます。

今回のクーポン事業に申しますと、補正をいただいて御承認いただいて準備を開始する、この6月に準備を行い参画事業者を募り開始するっていう段取りで申しますと、7月開始が一番速度感で言うと早い時期の開始となってまいります。ということもあまして、7月を第1期のスタート時期とさせていただいているところです。

昨年の稼働率の最高が何月だったのかと申しますと、平日で申しますと11月で46.5%の稼働率でございました。土日についても11月の64.3%が最高でございました。逆に最も低かったのが、昨年の例ですが第6波コロナ禍の影響を大きく受けておりました4月が土日、平日とも最も低くなってございました。昨年クーポンを実施しました7、8、9、それから1月、2月、そのあたりにつきましても、7から9については7波の影響が最も強い時期でございました。

1月、2月については第8波の影響を色濃く受けていた時期にちょうど結果的にはかぶったという状況になりまして、その間、いずれの月におきましても稼働率の面で土日の稼働率が高くなり過ぎるとかですね、そういうふうな受給の逼迫にまでつながるような効果はクーポンで生むところまでは至らなかったんですけれども、需要の下支えという意味では十分効果があったのかなというふうに考えてございます。

以上でございます。

○議長（荒尾典男君） 2番東君。

○2番（東 信介君） せっかく大きなお金を出してやられるんやからよ、やっぱり一番費用対効果の出られるところをちゃんと調査してやっていただくのが一番ええんかなと思います。それはもう結構です。

次に、かなり微妙な線でお聞きしたいと思うんですけど、町なかで機構の女性の方が2人辞められた。そういえば専門職の方も2人、今年度中の任期違うんかなと思って、せっかく何年かおっていて、せっかくスムーズに動いてきやる中、この先はちょっと微妙なところやと思うんですけど、この先はどう企画課としては考えられてあるんか。

○議長（荒尾典男君） 観光企画課長吉中君。

○観光企画課長（吉中秀郎君） あくまで別法人の人事という、経営根幹に関わることでございますので、あくまで機構内部で御判断されることかとは考えてございます。なお、専門人材の地域おこし企業人ですね、こちらの活用ですとか、昨日も御質問ありました地域おこし協力隊の活用、こうしたことにつきまして御相談があった際には、また協議に応じてまいりたいというふうに考えてございます。

以上でございます。

○議長（荒尾典男君） 2番東君。

○2番（東 信介君） 1人はね、そういうふうにごちでお金出してるしね。だから、これまた足りなかったら言うてきたらまた雇うのはいいんですけど、2人せっかく慣れたところで2人もおらんようになるというのはちょっとしんどいなと思って、これは独り言です。

次に、この3月、4月で欧米系の、白人系のお客さんが多いなど、すごい増えたと思う。この間の報告では3月が2,000人、4月はもっといくんじゃないかっていうことやったんですけど、これは観光企画課がどうやって思ってるんか聞くんですよ。コロナ禍でインバウンド対策した結果やと思ったあるんか、それが見えてきてあるんか、それでこういうふうなお客さんが来られてあるんか、その企画課としてどういう分析されてるんか、その辺お願いします。

○議長（荒尾典男君） 観光企画課長吉中君。

○観光企画課長（吉中秀郎君） インバウンドの復元状況についてどのような要因かというような御質問かと思えます。もちろん過去、県であったり、我が町であったり、それから町内の様々な事業者様が世界遺産、それから生マグロ、温泉、こうした分野で情報発信を積み重ねてこられた成果の上に観光機構は観光機構として英語の情報案内ですとかホームページの発信、そうしたことも相まって今の状況があるものと考えてございます。

以上でございます。

○議長（荒尾典男君） 2番東君。

○2番（東 信介君） 効果があつて来てくれたらええんですけど。僕は、桜の花見で主要都市が泊まれなかったからこっちへ回ってきたんかなってというような感じがするんですよね。だから、今年の3月、4月のこのお客さん、本当に効果が出てあるんやったらええですけど、来年も同じ時期には同じぐらい来ると思いますよ。だから、この辺をこのゼロとして、来年度の集

客のためにはこういう分析で今こうやって来てくれてるんやなっていうようなことをちゃんと把握してあったら、来年は3月、4月はもっとお客さん来ていただける働きかけもできると思うんですよ。これ多分、6月、7月になったら多分、欧米系の白人系のお客さんはかなり減っていくんやと思うんですけど、その辺を分析しながらやっていただいて、いやそれが機構の仕事やと思うんですけど、この辺しっかりしてやっていただきたいと思うんですよ。やっとならコロナ禍でデータが取れない時期からやっとならデータが取れる時期に始まって、ゼロから今から始まるころなんで、これからしっかり分析して来年度に向けてしっかり対策を練っていただきたいと思います。その辺どうですか。

○議長（荒尾典男君） 観光企画課長吉中君。

○観光企画課長（吉中秀郎君） 御指摘踏まえて観光機構のほうにも申し伝えてまいりたいと思います。なお、観光案内所の現場におきましても、海外のお客様多数お訪ねいただいておりますので、そうした現場におきましても対面で聞ける範囲でアンケートと申しますか、情報は取得しておるとも聞いてございますので、今後そうした分析も出てくるのかなというふうに期待しておるところです。

以上でございます。

○議長（荒尾典男君） 2番東君。

○2番（東 信介君） これで私の一般質問は終わります。ありがとうございました。

○議長（荒尾典男君） 2番東議員の一般質問を終結します。

以上をもって本定例会に通告されました一般質問は全部終了しましたので、これをもって一般質問を終結します。

以上で本日の日程は全部終了しました。

本日はこれで散会します。

~~~~~ ○ ~~~~~

10時52分 散会